

第53回 創薬科学セミナー

日時：2017年3月17日（金曜日） 11:00～12:00

場所：創薬科学研究館2階 講義室

タイトル：

「バイオ研究における高分子材料科学の可能性：
大学-研究所-海外留学を経て」

講師：

宇都 甲一郎 博士

(物質・材料研究機構

国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)

若手国際研究センター・ ICYS研究員)



研究の発展に伴いその分野は、複雑化・多様化する方向にあり、今後の研究者としての在り方について考えさせられることがある。この研究の発展性と多様性にはある種の相関関係があるように捉えているため、様々な環境や立場で研究活動を行うことは有効であるように思っている。本セミナーでは、私自身が地方大学、国立研究機関、そしてアメリカの大学などで学生-ポスドクとして過ごした経験談をもとに、それぞれの生活、文化や研究環境の違いなどを簡単に紹介する。研究においては、動的概念を組み込んだ高分子材料の開発と材料主導のメカノバイオロジー研究への展開について紹介する。材料科学を敬遠する方々への障壁を下げ、材料の魅力やポテンシャルを紹介できればと思う。

**メカノバイオロジー分野にて、革新的研究をされている講師の先生です。
国立研究機関、海外学振取得という、類い稀なご経験をされた
若き研究者としての生き様・キャリアパスも必聴です！
是非みなさんご参加ください。**

企画：創薬科学研究科 蟹江慧 (kanie-k@ps.nagoya-u.ac.jp)